



成人病（生活習慣病）*News Letter*

第 45 回日本成人病(生活習慣病)学会 開催に向けて

第 45 回日本成人病（生活習慣病）学会会長
 東京大学腫瘍外科・血管外科 名川 弘一



この度、第 45 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会を、2011（平成 23）年 1 月 15 日（土）、16 日（日）の 2 日間、都市センターホテル（東京平河町）で開催させていただくことになりました。伝統ある日本成人病（生活習慣病）学会の会長を務めさせていただくことは、大変光栄なことと存じており、関係の皆様へ心より感謝申し上げます。

これまで日本成人病（生活習慣病）学会を指導されてこられた先輩の先生方のお蔭で、本学会の活動が社会に広く認知されるようになってきました。特に、日本成人病（生活習慣病）学会の主たる事業のひとつである学術集会も年々その内容が充実し豊富になってきており、それとともに参加者数も増えてきております。その意味において、皆様のご指導、ご支援、そしてお力添えをいただき、第 45 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会を成功させるべく、教室員一同、準備に万全を尽くしてゆく所存です。

“「人」それぞれが健やかであるために”、これを第 45 回学術集会のメインテーマとしました。からだのどこにも病がなく健康であることは、もちろん理想的なことです。しかし、たとえ病があったとしても、その病を上手にコントロールして、健やかであること、これも大切なことであり、そのコントロールの仕方はその「人」によってそれぞれ異なるものとも思います。第 45 回学術集会では、そのようなことが学べるような場にしたいと考えております。

学術集会の内容につきましては、次ページに示しますように、特別講演、理事長講演、会長講演、教育講演二題のほか、Meet the Expert, Plenary Lecture, Symposium をそれぞれ二題づつ予定致しました。また、毎回好評の市民公開講座を二日目の午後に予定しております。いずれも、生活習慣に密接に関連するテーマを取り上げ、現在、その分野で我が国を代表する専門家の先生方に演者をお願いしているところです。

なお、テーマと演者の選定にあたりましては、本学会役員の先生方の貴重な御意見を参考にさせていただきました。ここに改めて御礼を申し上げます。

以上、簡単ではありますが、第 45 回日本成人病（生活習慣病）学会開催に向けての準備状況を報告させていただきました。生活習慣病対策は、我が国における最も重要な社会問題の一つとなりつつあります。その意味で、臨床系医師のみならず基礎系医学者、看護師、管理栄養士など様々な分野の方々に多くお集まりいただき、実り多い学術集会となるように尽力する所存でございます。皆様のご指導、ご協力、ご支援をお願い申し上げますとともに、第 45 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会へのご参加を心よりお待ち申し上げます。

今号の主な内容

- ◇ 第 45 回学会開催に向けて
- ◇ 第 45 回学会開催のお知らせ
- ◇ 市民公開講座開催のお知らせ
- ◇ 第 1 回教育集会開催のご案内（募集要項）
- ◇ 寄稿文
- ◇ Key word
- ◇ 理事会、各委員会報告・主な関連学会のお知らせ
- ◇ 入会のおすすめ、その他
- ◇ 編集後記

【日本成人病(生活習慣病)学会教育集会開催のご案内】は 3 頁に掲載

第 45 回日本成人病(生活習慣病)学会開催のお知らせ

第 45 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会は、メインテーマを“「人」それぞれが健やかであるために”とし、下記の企画を予定しております。基礎から臨床まで、幅広い分野より一般演題を募集しております。ご参加のほどよろしくお願い致します。

会 期：2011（平成 23）年 1 月 15 日（土）、16 日（日）
場 所：都市センターホテル
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1
TEL：03-3265-8211
URL：http://www.toshicenter.co.jp
会 長：名川 弘一（東京大学腫瘍外科・血管外科 教授）
会場費：医師・研究者および医薬・器械業者の方 8,000 円
コメディカル 4,000 円

プログラム概要（敬称略）

特 別 講 演	門脇 孝（東京大学）
理 事 長 講 演	跡見 裕（日本成人病（生活習慣病）学会 理事長）
会 長 講 演	名川 弘一（東京大学）
シンポジウム 1	「生活習慣病時代におけるがんの予防と治療」
シンポジウム 2	「職域における生活習慣病の診断と管理—ドック健診と医療機関の連携—
教 育 講 演	「病院の言葉を分かりやすく」 吉岡 泰夫（別府大学） 「加齢と血栓症—抗凝固薬・抗血小板薬の使い方—」 後藤 信哉（東海大学）
Meet the Expert	「生活習慣病と慢性腎臓病（CKD）」 山縣 邦弘（筑波大学） 「ステントグラフト内挿術」 加藤 雅明（森之宮病院）
プレナリーレクチャー	「アルツハイマー病」 岩坪 威（東京大学） 「生活習慣病に対する食育指導」 曾根 博仁（筑波大学）
ランチョンセミナー	（4 題予定）
一 般 演 題	

※「日本医師会認定産業医講習更新研修（シンポジウム 2）」の認定申請を予定しております。

インターネットによるホームページからのオンライン演題登録を行っております。
詳細はホームページ <http://www.j-seijinbyou.gr.jp/>「演題募集要項」をご参照下さい。

演題募集締切：2010 年 9 月 30 日（木）正午

市民公開講座 開催のご案内

第 45 回日本成人病（生活習慣病）学会学術集会の開催とともに、毎年恒例の市民公開講座を開催致します。今回のテーマは、「健やかであるための生活習慣病との上手な付き合い方」（仮題）として、生活習慣病の予防と治療を通して、多忙な日々を生きる我々現代人が見過ごしてきたかもしれない「健康」という意味を改めて考えてみる良い機会になればと考えております。詳細については現在検討中ですが、決まり次第本学会ホームページなどでお知らせ致します。

日本成人病(生活習慣病)学会教育集会開催のご案内

今日、成人病・生活習慣病の重要性が改めて認識されております。今般、本学会では教育、啓発活動をより具体化するため学会認定管理指導医制度を設け、成人病・生活習慣病に高い関心を示す医師を育成することといたしました。学会活動の一環として下記の通り第1回教育集会を開催いたします。プログラムの内容は第1回ということで成人病・生活習慣病の中では最もポピュラーなものを選択させていただきました。教育集会受講は学会認定管理指導医取得の申請要件となりますので、ぜひご参加くださるようお願いしております。なお、学会認定管理指導医の申請は次年度（平成23年度）からとなる予定です。

記

1. 日 時：平成22年（2010年）9月4日（土） 15：00～19：00
2. 会 場：東京ステーションコンファレンス（サピアタワー）6階
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 TEL：03-6888-8080
3. 定 員：200名
4. 受 講 料：日本成人病(生活習慣病)学会 会員 3,000円 非会員 5,000円 コメディカル／研修医 1,000円
会費は申し込みと同時に下記へお振込みください。
お振込み確認後登録完了通知を送付いたします。（2週間以上経って完了通知が未着の場合はご一報ください。）
みずほ銀行 銀座中央支店（普）1200382
口座名：第1回日本成人病生活習慣病学会教育集会 代表 熊谷 一秀
(ダイ1カイニホンセイジンビョウセイカツシユウカンビョウガツカイキョウイクシユウカイ)
5. 募集要項：官製ハガキ、またはE-mailにて申込み事項を記載し、日本成人病(生活習慣病)学会事務局までお申し込みください。
6. 申込締切：定員になり次第、先着順で締め切ります。
7. 受 講 証：受講修了者には日本成人病(生活習慣病)学会より受講証を発行いたします。
8. プログラム：「大腸癌と生活習慣（病）」 渡邊 聡明 (帝京大学医学部外科教授)
「脂質異常症と動脈硬化」 寺本 民生 (帝京大学医学部内科教授)
「脳梗塞の予防、治療の最前線」 北川 泰久 (東海大学神経内科教授)
「CKDと生活習慣病」 富野康日己 (順天堂大学医学部腎臓内科教授)
「糖尿病リスクとその管理」 岩本 安彦 (東京女子医科大学糖尿病センター教授)
9. 申込み記載事項：E-mailの場合件名は“教育集会応募”
第1回日本成人病(生活習慣病)学会教育集会申込み
*氏名（ふりがな）
*会員（会員番号）・非会員（コメディカル／研修医の方は必ず明記してください。）
*勤務先・所属
*勤務先住所 郵便番号 電話番号 FAX番号 E-mail
10. 応募先／受講に関するお問い合わせ先：
〒113-0033 東京都文京区本郷3-40-3 (株)文栄社 内
E-mail：jimukyoku@j-seijinbyou.gr.jp
TEL：03-3814-8541 FAX：03-3816-0415
日本成人病(生活習慣病)学会事務局 第1回教育集会 係

糖尿病診断基準の改訂

東京女子医科大学糖尿病センター
岩本 安彦

この度、11年ぶりに新しい糖尿病診断基準が発表されました（図1）。改訂では、現行診断基準との連続性、エビデンスに基づいた科学的妥当性、海外の診断基準との整合性などを十分に考慮し、具体的には、HbA1cを従来の補助的診断基準から、より上位の診断基準としてとり入れることになりました。

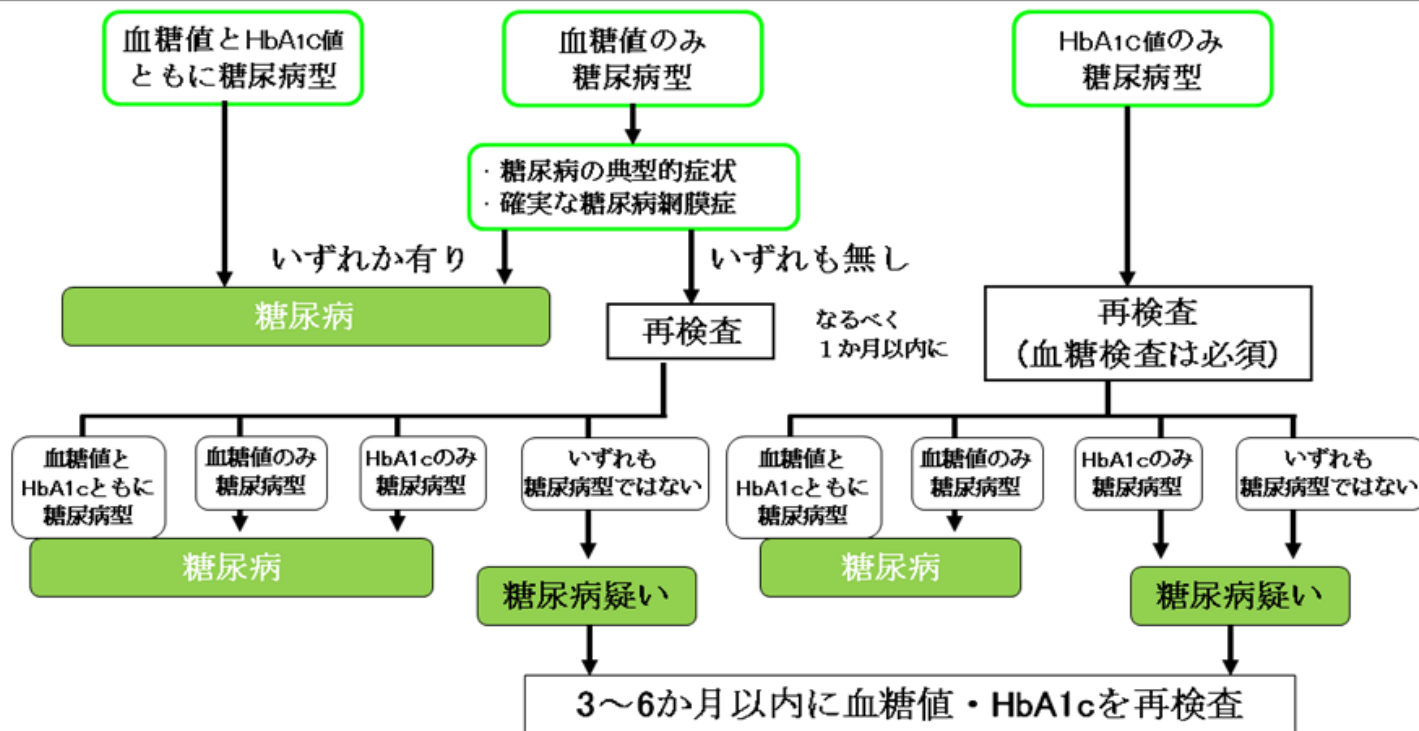
「糖尿病型」と判定する血糖値は、従来の基準と変更ありま

せん。「糖尿病型」と判定されるHbA1c（JDS*値）は、従来補助的診断として使われていたHbA1c（JDS値）より低く、6.1%以上となります。また、一回の検査で「糖尿病型」の場合、別の日に再検査を行い、あらためて「糖尿病型」と確認されれば、糖尿病と診断するという手順はこれまでと同様です。この糖尿病の新診断基準は2010年7月より施行されています。

* : JDS (Japan Diabetes Society)

糖尿病の臨床診断のフローチャート

糖尿病型：血糖値(空腹時 $\geq 126\text{mg/dl}$ 、OGTT2時間 $\geq 200\text{mg/dl}$ 、随時 $\geq 200\text{mg/dl}$ のいずれか)
HbA1c (JDS値) $\geq 6.1\%$



糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告、2010

Key word

CHADS2 スコア

東海大学医学部付属八王子病院 神経内科
徳岡健太郎

CHADS2 スコアは、非弁膜症性心房細動（NVAF）による塞栓症のリスク評価と抗血栓療法を選択基準に推奨されるようになり、近年普及してきた。CHADS2 スコアとは、Congestive heart failure（うっ血性心不全）、Hypertension（高血圧）、Age \geq 75 years old（75歳以上）、Diabetes mellitus（糖尿病）、Stroke/TIA（脳梗塞/TIA）の頭文字をとってつけたものである。うっ血性心不全、高血圧、75歳以上、糖尿病はそれぞれ1点、脳梗塞/TIAの既往は2点として、その合計点がCHADS2 スコアとなる。このスコアをもとに塞栓症のリスクを層別化し、スコア0点の場合は低リスクで脳梗塞発症のリスクは1.0%/年、1点から2点は中リスクで、脳梗塞発症リスクはそれぞれ1.5%/年、2.5%/年、3点以上は高リスクで、脳梗塞発症リスクは3点で5.0%/年、4点以上では7.0%/年以上になる。日本循環器病学会2008年度版の「心房細動治療（薬物）ガイドライン」や、日本脳卒中治療ガイドライン2009の「脳卒中一般の発症予防、心房細動」では、CHADS2 スコアが2点以上であれば、ワルファリン治療を強く推奨されている。脳梗塞既往の患者は、CHADS2 スコアは必ず2点以上となるので、ワルファリン治療の適応となる。CHADS2 は、各リスク因子を点数化して累積加算することで脳梗塞発症リスクの予測および治療法の選定ができるため、比較的単純で覚えやすく、AFI/ACCP Consensus や SAPF など他のリスク評価よりも使いやすい。

NVAF に関しては、欧米で行われてきた RCT メタアナリシスで、ワルファリン療法を導入することにより 68%の発症リスクを低減し、ワルファリンは INR2.0 未満で脳梗塞発症リスクが上がり、INR が 3.0 以上では重篤な脳出血を発症するリスクが高くなることが報告された。これによりワルファリン療法は、NVAF の脳梗塞発症予防に有効であり、INR2.0-3.0 でのコントロールが推奨されている。日本において 70 歳以上の高齢者に対しては、INR 2.6 を超えると脳出血の頻度が増したため、INR は 1.6-2.6 が推奨されている。心房細動においては、「発作性心房細動」も「持続性心房細動」と塞栓症発症率に差はないことから、ワルファリン治療の適応患者には心房細動の種類を問わず投与を行うべきと考える。

近年、選択的トロンビン阻害薬である dabigatran（本邦未承認）は、RE-LY 試験（Randomized Evaluation of Long Term Anticoagulant Therapy）からの報告で、ワルファリン治療に代わる新たな薬剤として期待されている。高リスクの NVAF 患者において、ワルファリン投与群（目標 INR2.0-3.0）とダビガトラン低用量投与群（110mg 1日2回）との比較では脳卒中または全身塞栓症の発症率は同等であり、ダビガトラン高用量投与群（150mg 1日2回）においては有意に抑制された。出血性脳卒中は、いずれのダビガトラン投与群でも有意に低かった。食事や薬剤による影響も受けず、モニタリングも必要ないダビガトランの本邦での使用も期待するところである。

理事会報告

- ◎名川弘一会長より第45回学会の準備状況の報告があった。
 - ◇メインテーマ：「人」それぞれが健やかであるために」
 - ◇開催月日：平成23年1月15日（土）・16日（日）
 - ◇プログラム（概要）の説明・市民公開講座の説明
- ◎プログラム（概要）について、意見交換が行われた。
- ◎新理事 田尻久雄先生（東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科）より新任の挨拶があった。
- ◎理事長より次期副会長候補として富野康日己（順天堂大学腎臓内科学講座）先生を推薦したい旨、提案がなされ一同の承認を得た。

- ◎委員会（認定管理指導医資格制度委員会・企画委員会・ホームページ委員会）より活動報告があった。
 - ◇認定管理指導医資格制度委員会
 - 第1回教育集会開催について
 - ◇企画委員会
 - 生活習慣病患者における運動療法の有効性に関する研究実施について
 - ◇ホームページ委員会
 - 他学会とのリンクについて・Q&Aについて・ニューズレターのホームページへの掲載について

主な関連学会のお知らせ（2010年9月～12月）

第3回日本肥満症治療学会学術集会：9月10日～11日

大会長：門脇 孝（東京大学大学院）

会場：学術総合センター（東京都）

連絡先：コンパス TEL:03-5840-6131

第58回日本心臓病学会学術集会：9月17日～19日

会長：永井 良三（東京大学大学院）

会場：東京国際フォーラム（東京都）

連絡先：日本コンベンションサービス TEL:03-3508-1214

第69回日本癌学会学術総会：9月22日～24日

学会長：門田 守人（大阪大学大学院）

会場：大阪国際会議場（大阪市）

連絡先：学術総会運営事務局（株）コンベンションリングージ
TEL: 06-6377-2188

第46回日本胆道学会学術集会：9月24日～25日

会長：田妻 進（広島大学大学院）

会場：リーガロイヤルホテル広島（広島市）

連絡先：広島大学病院総合内科・総合診療科 TEL:082-257-1597

第52回日本老年医学会関東甲信越地方会：9月25日

会長：名川 弘一（東京大学大学院）

会場：全社協・灘尾ホール（東京都）

連絡先：東京大学 腫瘍外科学 TEL:03-5800-8744

第31回日本肥満学会：10月1日～2日

大会長：森 昌朋（群馬大学大学院）

会場：前橋テルサ（前橋市）

連絡先：群馬大学大学院 病態制御内科 TEL:027-220-8501

第18回日本消化器関連学会週間（JDDW 2010） 10月13日～16日

会場：パシフィコ横浜（横浜市）

連絡先：JDDW 事務局 TEL:03-3573-1254

*第52回日本消化器病学会大会：10月13日～15日

会長：林 紀夫（関西労災病院）

*第14回日本肝臓学会大会：10月13日～16日

大会長：中沼 安二（金沢大学大学院）

*第48回日本消化器がん検診学会大会：10月13日～16日

大会長：樋渡 信夫（いわき市立総合磐城共立病院）

*第41回日本消化吸収学会総会：10月13日～16日

大会長：宮坂 京子（東京家政大学）

*第8回日本消化器外科学会大会：10月14日～16日

大会長：佐々木 巖（東北大学大学院）

上記各学会の連絡先：JDDW 事務局 TEL:03-3573-1254

*第80回日本消化器内視鏡学会総会：10月13日～16日

会長：一瀬 雅夫（和歌山医科大学）

連絡先：和歌山医科大学第二内科 TEL:073-441-0627

第33回日本高血圧学会：10月15日～17日

会長：今泉 勉（久留米大学）

会場：福岡国際会議場（福岡市）

連絡先：久留米大学 内科学講座心臓・血管内科 TEL:0942-31-7562

第28回日本大腸検査学会：11月27日～28日

大会長：高橋 信一（杏林大学）

会場：全社協・灘尾ホール（東京都）

連絡先：杏林大学 第三内科学教室 TEL:0422-47-5511（3656）

第38回日本肝臓学会東部会：12月2日～3日

大会長：森安 史典（東京医科大学）

会場：京王プラザホテル（東京都）

連絡先：東京医科大学 消化器内科 TEL:03-3342-6111

他学会からのお知らせ

STROKE2011 開催のご案内

（学会中は共通券ですべての学会に参加いただけます。）

会期：2011年3月24日（木）～26日（土）

会場：京王プラザホテル

学会名：第36回日本脳卒中学会総会

第40回日本脳卒中の外科学会

第27回スバズム・シンポジウム

主題：「開かれた脳卒中」

} STROKE2011
として共同開催
いたします。

問い合わせ先：STROKE2011 運営事務局

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル
株式会社 コングレ内

TEL:03-526-5318 FAX:03-5216-5552

E-mail:stroke2011@congre.co.jp

HP:http://www.stroke2011.jp

事務局からのお願い

勤務先変更・住所変更・所属、役職等変更事項のある方は、必ず事務局へメール・FAX・葉書でご連絡下さい。
(電話での変更受け付けは出来ませんのでご注意ください。)

入会のお勧め

本学会は成人病・生活習慣病を対象とした学術団体です。会員数は現在約1,200名で、医師以外にも保健、栄養、スポーツ、検診関係の方々が数多く参加し、それぞれの場で活躍しています。新たに認定管理指導医資格制度や企画委員会による介入試験などの活動が開始されますので、本会の趣旨に賛同して頂ける方の多数の入会をお願いします。

なお、申し込み用紙は事務局に直接連絡して取り寄せるか、ホームページの申し込み用紙をダウンロードしてお使いください。

また、ホームページの「入会のご案内」より直接お申し込みも出来ますのでご利用ください。

※ホームページから入会のお申し込みをされる場合、年会費のご入金を確認出来た時点で入会となります。(会員番号と手続き完了のお知らせメールを送信致します。)

ご入金の確認が出来ない場合は正式入会にはなりませんので、ご注意ください。

一般会員年会費：3,000円／評議員年会費：6,000円

入会金：なし

お問い合わせ・資料のご請求

日本成人病（生活習慣病）学会

事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-40-3

(編集部) 株式会社 文栄社 内

TEL：03-3814-8541 FAX：03-3816-0415

E-mail：jimukyoku@j-seijinbyou.gr.jp

URL：http://www.j-seijinbyou.gr.jp

編集後記

平成23年度の第45回日本成人病（生活習慣病）学会は、名川 弘一会長の下、「人それぞれが健やかであるために」のメインテーマで開催される。近年、古から言われてきた「未病」の概念が脚光を浴びているが、今回の学術集会がその「未病」の概念を現代に蘇らせる為の方策を考える機会となれば幸いである。

「未病」という言葉が初めて見られるのは2千年以上前に書かれた中国の医学書である「黄帝内経」であり、この中では「病氣」になってからではなく「病氣」になる前の治療こそが重要であるとしたためられている。この考えから、「未病」の概念は現代風に翻訳すると「予防医学の重要性」とも言えるのではないだろうか。

そのような考えを持って改めて名川会長の第45回日本成人病（生活習慣病）学会「人それぞれが健やかであるために」の企画を見てみると「生活習慣病時代におけるがんの予防と治療」、「生活習慣病と慢性腎臓病」、「生活習慣病に対する食育指導」等の「未病」の概念をふんだんに取り入れたテーマが多く並んでおり、まさに“日本成人病（生活習慣病）学会”の面目躍如であり、本学会以外にこのようなテーマで広く分野の異なる方々が集まる学会はないのではないかと考えられる。願わくば、この学会の存在を普く国内の医療従事者が認識し、名川会長の素晴らしいテーマの下に多くの新入会員の方々が参集され、「未病の医学」がこの学会を中心に益々発展する事を祈るばかりである。

(青沼 和隆)

成人病（生活習慣病）ニュースレター
Vol.9-No.2 2010年8月1日発行

発行人：跡見 裕

委員会顧問：増田善昭・山口 巖

責任編集委員：青沼和隆（筑波大学）

編集委員：馬原孝彦（東京医科大学）

河野 了（筑波大学）

北川泰久（東海大学八王子病院）

北山丈二（東京大学）

佐藤麻子（東京女子医科大学）

徳岡健太郎（東海大学八王子病院）

中川敬一（東京シーサイドクリニック）

横山 登（昭和大学豊洲病院）

吉田晴彦（東京大学）

印刷所：株式会社 文栄社

本誌広告申し込み先：日本成人病（生活習慣病）学会事務局
 (株) 文栄社 までお問合せください。